

2026年4月27日

三井不動産株式会社

株式会社ディー・エヌ・エー


【小説×ゲーム×日本橋】

三井不動産とDeNA、ARアプリ「アルプラ」を用いた
日本橋の街を巡る体験型ミステリーイベント
『誓いの灯火』を共同開催



三井不動産株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：植田 俊、以下 三井不動産）と株式会社ディー・エヌ・エー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼CEO：岡村 信悟、以下 DeNA）は、2026年4月27日（月）～2027年3月30日（火）に東京・日本橋において、AR（拡張現実）アプリ「アルプラ」を使用した推理ミステリーの体験型イベント「日本橋を巡る体験ミステリー 誓いの灯火」を開催します。

- 特設サイト：<https://lp.arplat.jp/chikai/>

アルプラについて 

「アルプラ」は、DeNAが開発・運営する、位置情報とAR技術を融合させた体験型回遊イベントアプリです。実際の街歩きを通して、現実世界とデジタルの物語が交差する新しいエンターテインメント体験を提供します。地域活性化と街の魅力再発見をコンセプトに、オリジナルストーリーによる回遊型ミステリーなど、多彩なコンテンツを一つのプラットフォーム上で展開しています。

■イベント企画の背景

三井不動産は、創業の地でもある日本橋において、官民・地域と連携しながら、街づくりとエンターテインメントを掛け合わせた新しい賑わい創出に取り組んでいます。今回、DeNAと共同で、日本橋の街を巡りながら物語体験を楽しめる回遊アプリ「アルプラ」内のイベントを開発しました。歴史ある街並みや店舗、スポットを舞台に、歩くことそのものが“体験”となる仕掛けを通じて回遊を促進し、来街者の滞在価値向上と、街の魅力発信につなげてまいります。

また、DeNAは、インターネット領域で培った知見を基盤に、ゲームやアニメ、IPコンテンツなどのエンターテインメント領域や、スポーツやスマートシティなどの街づくり領域での事業を行っています。こうした多角的な事業運営を通じて、デジタルテクノロジーの実装力を強みとしながら、独自の収益モデル・ソリューションの開発力・ノウハウを培ってきました。

本企画は、三井不動産とDeNAの強みやアセットを活かし、「街づくり×エンターテインメント」のアプローチにより、日本橋エリアの活性化と街の魅力の再発見をコンセプトにして実施します。

■ARアプリを活用した「街歩き×推理ミステリー」

本イベントは、DeNAが開発した、位置情報とARが融合した回遊型リアル体験アプリ「アルプラ」内の期間限定イベントとして開催し、街歩きをしながら日本橋を舞台にした推理ミステリーを体験いただけます。

日本橋で起こった事件の謎を解くために、日本橋の名所などのスポットを巡ってシナリオを入手し、物語を読み進めて推理をしながら、日本橋周辺を探訪していきます。スマートフォンのカメラをかざして楽しむARや位置情報の技術を用いて、物語の世界と現実の街並みがリンクする没入感のある街歩き体験を提供します。

遊び方

HOW TO PLAY

日本橋の街すべてが、巨大なミステリーになる。次のスポットへ向かう数分間すら、あなたはもう事件の渦中。巧妙に仕組まれたミッションを解き明かし、物語の真実に辿り着いてください。名所を巡り、街を知る。遊びと学びが交差する、新しい街歩き体験がここから始まります。

STEP
01



表示されたピン
へ向かおう!

地図とARナビで事件を追え!

アプリの地図でピンの場所へ向かい、近くに着いたらカメラ (AR ナビ) を起動。日本橋に隠された「事件の手がかり」を追いかけよう。

STEP
02



様々なミッション
が待ち受ける!

ストーリーと体験を楽しもう!

目的地ではキャラクターとの会話やARカメラを使った手がかり探しのミッションが発生。

STEP
03



事件の真相を解き明かせ!

手がかりを手に物語の核心へ。日本橋を巡り、全ての記録を読み終えた時、あなただけの真実が完成します。

サイドストーリーを多数収録!

本編では描かれないこぼれ話を豊富にラインナップ。物語の合間に、街の意外な一面を気軽に楽しめします。



日本橋の歴史と魅力を再発見!

物語の各所に、街の歴史遺産や文化を学べる TIPS (豆知識) を収録。読み進めるほどに、知られざる日本橋の魅力に出会えます。

甘酒横丁

えびす横丁

麒麟像

■東野圭吾『加賀恭一郎シリーズ』とのコラボレーションストーリー

本イベントでは、アルプラのイベントオリジナルのストーリー（フィクション）が展開されます。事件の謎を解きながら日本橋エリアの魅力にも触れていただける内容となっています。

また、『新参者』『麒麟の翼』『祈りの幕が下りる時』など、日本橋を舞台にした作品を含む、ミステリー小説のシリーズ「加賀恭一郎シリーズ」（著：東野圭吾）とのコラボレーションにより、アプリオリジナルストーリーの中に「加賀恭一郎」も登場します。

<イントロダクション>

日本橋で発見された叔父の遺体。これは事件か、それとも事故か。
手元に残されたのは、見知らぬ人々が写る一枚の写真と小さな数字だった。
主人公は真実を突き止めるため、日本橋の地を訪れる。
そこで待っていたのは、刑事・加賀恭一郎との出会い。
そして、叔父を取り巻く様々な人間関係だった。

陸上で見つかった「水死体」。――彼は何故そこで死んだのか

<スペシャルムービー>

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=WW8q5WRjj4A>



■イベント開催概要

- タイトル：日本橋を巡る体験ミステリー ―誓いの灯火―
- 期間：2026年4月27日（月）～2027年3月30日（火）
※開催期間は変更になる場合があります
- 場所：日本橋室町エリア（東京都中央区）
- 内容：ARアプリ「アルプラ」を使用した推理ミステリーの体験型イベント
※クリアまでの所要時間の目安は3～5時間です
※イベント期間中はご自身のペースで体験いただけます
- 特設サイト：<https://lp.arplat.jp/chikai/>

イベントに参加するためには、ARアプリ「アルプラ」をスマートフォンにインストールする必要があります。以下からダウンロードください。

- iOS : <https://apps.apple.com/jp/app/id6463716168>
- Android : <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.dena.a12027123>



また、本イベントを最大限に楽しむために、以下のスマートフォンの設定をご確認ください。

- 動作環境 : iOS 15.0以上 / Android 8.0以上 (AR Core対応)
- 位置情報 (GPS) : ON (物語の進行に必須です)
- カメラ機能 : ON (ARでの謎解きに使用します)

■東野圭吾 (ひがしの・けいご)

1958年、大阪府生まれ。大阪府立大学電気工学科卒業後、生産技術エンジニアとして会社勤めの傍ら、ミステリーを執筆。1985年『放課後』(講談社文庫)で第31回江戸川乱歩賞を受賞、専業作家に。

1999年『秘密』(文春文庫)で第52回日本推理作家協会賞、2006年『容疑者Xの献身』(文春文庫)で第134回直木賞、第6回本格ミステリ大賞、2012年『ナミヤ雑貨店の奇蹟』(角川書店)で第7回中央公論文芸賞、2013年『夢幻花』(PHP文庫)で第26回柴田錬三郎賞、2014年『祈りの幕が下りる時』

(講談社文庫)で第48回吉川英治文学賞、2019年第1回野間出版文化賞、2023年第71回菊地寛賞、2024年第28回日本ミステリー文学大賞を受賞。2023年には学問や芸術・文化などの功績者に贈られる紫綬褒章にも選ばれた。

©東野圭吾／講談社

■三井不動産について

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念のもと、オフィス、住宅、商業施設、ホテル・リゾート、物流施設など多様なアセットの開発・運営を通じて、街づくりを推進しています。創業の地である日本橋では、歴史や文化を生かしながら、デジタル技術やエンターテインメントの力も掛け合わせ、回遊と賑わいを生む体験価値の創出に取り組んでいます。

■DeNAについて

DeNAは、「一人ひとりに想像を超えるDelightを」というミッションのもと、ゲーム、ライブコミュニティ、スポーツ・まちづくり、ヘルスケア・メディカルなど幅広く事業を展開していることが特長です。創業以来、挑戦心あふれる社員の強い情熱と高い技術力を中軸に数々の事業を生み出し、顧客ニーズを的確に捉えた付加価値の高いサービス開発から運用までを行っています。現在、AIを中核とした中長期の成長に向けて、AIエキスパートチームを中心に生産性向上・既存事業の競争力強化のほか、新規事業の創出・グロースに取り組んでいます。1999年3月設立、東証プライム市場上場(銘柄コード:2432)。詳細は<https://dena.com/jp/>